

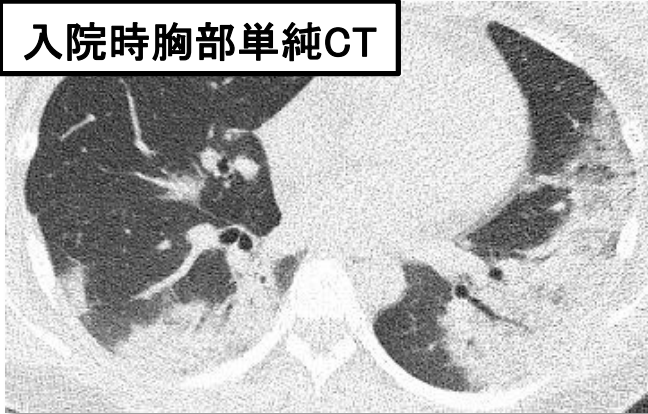
【論文タイトル】

重症新型コロナウイルス感染症（COVID-19）妊婦に対する高用量ステロイド療法

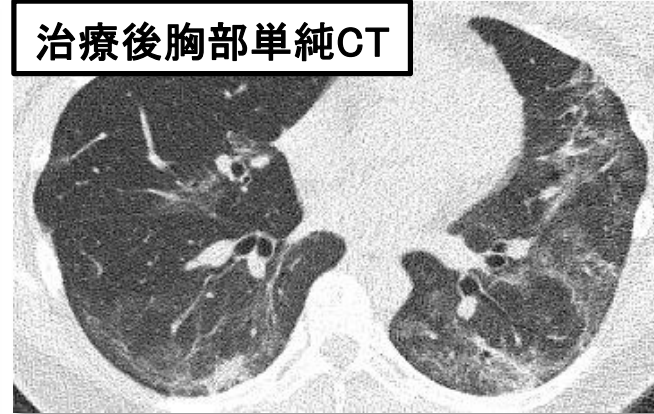
【概要】

COVID-19に対するステロイド治療の適切な量・時期は未確立である。妊娠はCOVID-19の増悪因子であり、早産リスクを増加させると報告されている。本症例は妊娠後期の30代女性、COVID-19肺炎に対しプレドニゾロン 40mgで加療開始したが、重症化し集中治療室でハイフローネーザルカヌラを用いた管理を要した。ベタメタゾン 12mg 2日間・メチルプレドニゾロン 125mg 3日間を含む高用量ステロイド療法でCOVID-19肺炎の経過は改善し、炎症反応は低下、酸素投与も中止できた。治療中の胎児生育は正常だった。ベタメタゾンはCOVID-19によるサイトカインストームの抑制だけでなく胎児の肺成熟にも有用であり、本例では高用量メチルプレドニゾロンを併用することで重症COVID-19妊婦の治療成功に結び付いたと考えられた。

入院時胸部単純CT



治療後胸部単純CT



Yamamoto K, Hagiya H, Maki J, Okahara S, Hasegawa K and Otsuka F.
High-Dose Corticosteroids for a Pregnant Woman Critically Ill With Coronavirus Disease 2019.
Cureus. 2021;13(8):e17398.